



三菱電機パッケージエアコン別売部品 高湿度対応キット 形名:PAC-SH62HK 据付工事説明書

お願い

・本キットの取付けは、室内ユニット据付前に行ってください。室内ユニット据付後の取付けは、難作業となります。
・本キットは、加湿器、多機能ケースメントとの組合せには対応していません。

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻などをふさぎ窒息する原因になります。
- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付工事に不備があると、感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に



注意

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように断熱処理すること。
- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。
- 電気配線は、電流量容量にあった規格品の電線を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。

1. 部品の確認

この箱の中には、本説明書と下記部品が入っています。(各部品の形状は、断熱材側から見た形状です)

品番 品名	①冷媒配管部用断熱材-A	②冷媒配管部用断熱材-B	③冷媒配管部用断熱材-C	④冷媒配管部用断熱材-D	⑤吊金具用断熱材-A (冷媒配管部)	⑥室内ユニット側面用断熱材-A
個数	1	1	1	1	1 T 穴形状用 1 L 穴形状用	1
形状						
品番 品名	⑦室内ユニット側面用断熱材-B	⑧室内ユニット側面用断熱材-C	⑨吊金具用断熱材-B (ユニット側面部)	⑩吊金具用断熱材-C (ユニット側面部)		
個数	1	1	2 T 穴形状用 2 L 穴形状用	1 T 穴形状用 1 L 穴形状用		
形状						
品番 品名	⑪室内ユニット天面用断熱材-A	⑫室内ユニット天面用断熱材-B	⑬コーナーパネル用断熱材-A	⑭コーナーパネル用断熱材-B	⑮予備 サイズ:t5×300×300	
個数	1	1	4	4	1	
形状						

お願い

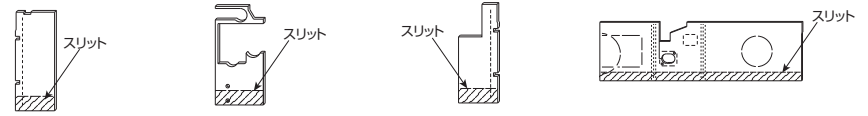
- 1)各断熱材は、本据付工事説明書のとおり取付けてください。取付けに不備があると、露付き・露たれの原因になります。
- 2)各断熱材は、のり付品です。取付けるとはがれないため、取付位置をよく確認した上で取付けてください。
- 3)取付けの際に隙間・破れなどが発生した場合は、予備⑮を任意の大きさに切り、取付けてください。
隙間・破れがあると露付き・露たれの原因になります。

1

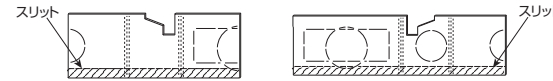
2. 高湿度対応キット取付前の準備

- 室内ユニット小形タイプに取付けの場合は、断熱材②～④、⑥～⑧を切断し使用してください。
※各断熱材の切断部分は下図の網掛け部分です。切断位置にスリットが入っていますので、ハサミなどで切断してください。(切断部分は使用しませんので、不要となります)

- 冷媒配管部用断熱材-B② ●冷媒配管部用断熱材-C③ ●冷媒配管部用断熱材-D④ ●室内ユニット側面用断熱材-A⑥

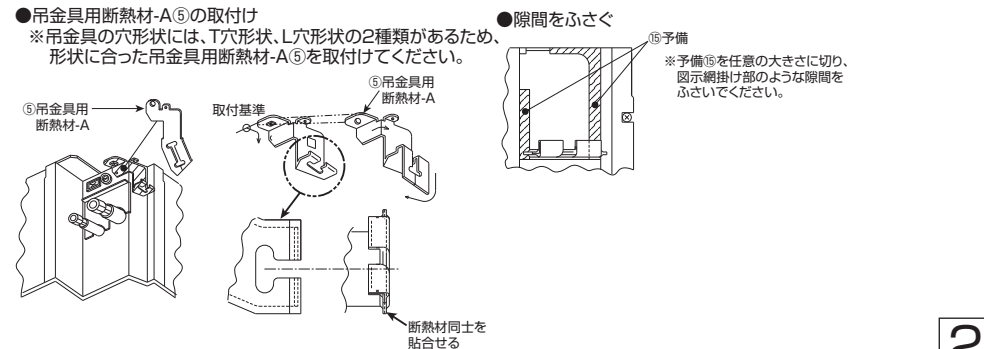
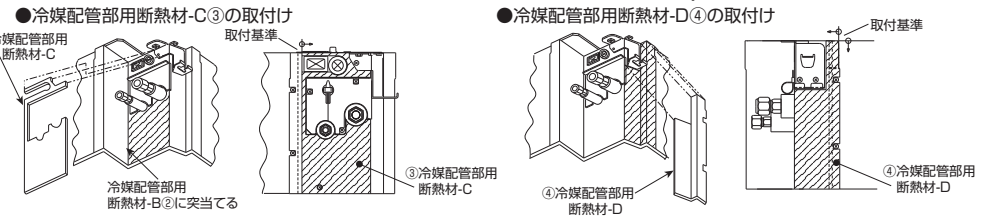
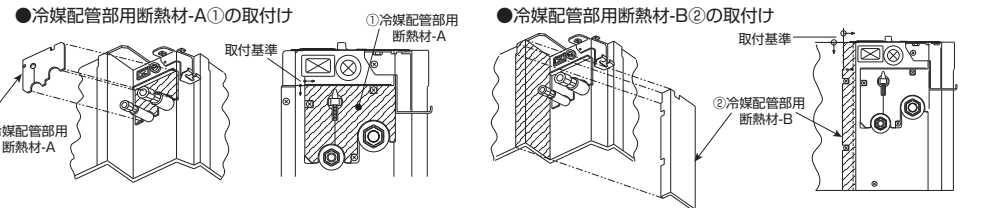


- 室内ユニット側面用断熱材-B⑦ ●室内ユニット側面用断熱材-C⑧



3. 冷媒配管部への取付け(手順1)

- 冷媒配管部に断熱材①～⑤を取付けます。
※断熱材①→②→③→④→⑤の順に、形状に合わせて取付けてください。
※取付前に取付位置・形状を必ず確認してください。
※取付けにくい場合は任意の位置で切断し、取付けてください。
※各断熱材は隙間がないように取付けてください。
※隙間・破れが発生した場合は、予備⑮を任意の大きさに切り、取付けてください。



2

